

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

昨年度は新型コロナの影響で中止となった全国学力・学習状況調査は、今年度は時期を遅らせて5月27日に実施されました。これは3年生を対象に国語と数学について、学習指導要領で国が求めている学力の達成度と、学習への取組や生活習慣、学習環境などの状況について調査したものです。国の説明のとおり、この調査で測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面にすぎませんが、参考にしながら学びの質を向上させていきたいと思っています。

正答率%	国語	数学
本校	64	56
鳥取県	63	56
全国	64.6	57.2

※学校・県は小数を四捨五入して
整数値のみ公表

【1 学力に関する調査から】

右上の表のように、全体の正答率では国語が県平均や全国平均と同程度で、数学は県と同程度ですが、全国よりわずかに低い結果でした。個々の設問からは、以下のような特徴が見られました。（○：県や全国と比較した正答率が高い ▲：低い）

- 《国語》○話し合いの場面での内容理解や聞く力、話す力。漢字や言語の知識。
▲文脈に沿って語句の意味を理解する力。文章に対する意見を持ち、根拠を引用して示しながら説明する力
- 《数学》○計算や方程式を扱う力。図形の条件について説明する力。
▲ヒストグラムや相対度数などの意味や必要性を理解し活用する力。目的や意味を捉えて式変形したり、説明したりする力。条件に沿って図形の性質を見抜き、説明する力。

【2 学習への取組や学習環境などに関する調査から】

この調査は質問紙によって、学校や家庭での生活や学習の状況を尋ねたものです。これまでの調査から、学力と生活環境は関係が深いと言われています。県や全国に比べて、本校の3年生は以下の特徴が見られます。

- 望ましい傾向の内容（そう思う生徒が多い）
自分にはよいところがある。自分で決めたことはやり遂げる。難しいことでも失敗を恐れず挑戦する。住んでいる地域の行事に参加している。学校に行くのは楽しい。思いや考えを言葉で表せる。自分と違う意見について考えるのは楽しい。授業の話し合いでは内容を理解し、考えの違いを受け止めて自分の考えを伝えた。話し合いで考えを広げたり深めたりできた。授業の課題解決に積極的に取り組んだ。学活で問題解決や目標設定につながる話し合いができた。授業でICT機器を利用した（県や全国に比べかなり多い）。国語の勉強が好き。国語の勉強は将来役立つと思う。数学の勉強は大切だし、将来役立つと思う。
- ▲課題だと思われる傾向の内容（そう思う生徒が少ない）
学校外の学習時間（平日2時間以上、休日3時間以上）。数学の勉強が好き。

◇新型コロナ関係の問い

- ・新型コロナでの休校期間に学習に不安を感じた生徒が半数以上あるが、全国よりはかなり少ない。
- ・休校中、計画的に学習できたり、規則正しい生活ができたりした生徒が、県や全国より少ない。

【3 今後の取組について】

このように、学力については全体として県や全国と比べて大きな違いはありませんが、細かく見ると力を伸ばしている部分とやや弱い部分があり、分析をもとに対応していきたいと思っています。合わせて、生徒一人ひとりによる違いもあるため、今後も個に応じた細やかな指導をしていきます。

学習への取組では、生徒同士が関わり合う活動や話し合いを通じて力を伸ばしている様子がうかがえるため、これを本校の強みとしてより充実させていきたいと思っています。ICTの活用については、生徒も使用機会が多いと感じていますが、さらに使用する場面や方法を工夫し、効果的な活用方法を探っていききたいと思います。

また、今後の社会で求められる、資料をもとに根拠を明らかにして考えを伝える力や、一つの目標に向かって互いの違いを認め、生かしながら課題解決する力は、特定の教科だけでなく、学校の取組全体で育んでいきたいと思っています。

今回の3年生の春の調査結果は、これまでの中学校2年間の積み重ねの結果であると考えられます。この結果を参考に学校全体の取組を改善していきます。